

一般社団法人  
福島県女性経営者プラザ

# オールを揃えて前へ進もう！

福島県女性経営者プラザ

会長 上石 美代子



会長を仰せつかって5ヶ月が過ぎました。三田前会長の温かいサポートと理事はじめ会員の皆様の優しいサポートを頂きながら、毎月の事業を進めております。

私がFJPに入会させて頂いて17年目になります。あつという間の17年間ですが、振り返ればFJPからたくさんの勉強をさせて頂きました。入ってすぐに事務局の会計担当となり無我夢中でさせて頂き、その時の先

輩方のご指導で得た知識は今も私の宝となっております。震災の時に、いろいろのご事情で退会され会員も減りましたが、2年前の20周年ごろから会員も少しずつ増え、会員数も震災前に戻りつつあります。

「FJPに入会し勉強しよう」と、入会された会員の皆様が毎月の例会に出席され、「入会して良かった。」と満足して頂けるFJPであるために、皆さまと協力し盛り上げて行きたいと思っております。

20周年の記念事業としてスタートした「女子学生懸賞作文」も3回目を迎え、FJPにとって基幹事業になっております。

- ◆FJPの目的◆
- ①女性経営者としての資質向上
  - ②次の女性たちのための風土づくり
  - ③共同事業の開発
  - ④地域・社会への貢献

FJPの目的である「女性経営者および起業家を目指す女性を支援する」ということが、事業として定着したことは大変嬉しいことです。会員と力を合わせこの事業を大きくしていきたいと思っております。

今年の夏はオリンピックで暑い暑い夏でした。たくさん感動と喜びを頂きました。カヌー競技でアジア人初の快挙、銅メダル獲得の羽根田選手の急流でのオール捌きは素晴らしいですね。あのオール捌きをしようと思うと四十肩や五十肩になりそう、いや肩が壊れますが会員の皆さまとは、青空の下、きらきらと光る川面をボートに乗り、オールを揃えてスイスイと明るい未来に進んで行きたいと思えます。

会長職を引き受け、微力ではございますが、誠心誠意、FJPの為に頑張りたいと思います。今後とも、みなさまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

●うでまくりとは  
古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのが。天気のよい朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！



2016.9.12 例会にて

FJP設立21周年記念特別講演 2016年4月

# 行動力・情報力・スピード力で生き抜く

講師・榎桜ゴルフ代表取締役 佐川 八重子氏  
(東京産業人クラブ女性部会会長)

ゴルフ会員権の道一筋46年。あなたのゴルフプランは私にお任せください——佐川八重子氏は、ゴルフ会員権の売買を行う会社を26歳で起業。幾度の危機を乗り越えながら、ゴルフ界をリードしてきた。コンサルティングを重視した営業方針を貫いていることが成功の秘訣と語る。

「礼節なくしてビジネスなし」、「腰は低く、プライドは高く」、「お客様の幸せあって私たちの幸せ」を事業のモットーとし、現在まで日本経済の一翼を担ってきた女性である。



▲講演する佐川八重子氏

以下、行動力・情報力で生き抜いてきた佐川社長の仕事ライフ、そのほんの1コマを写真で紹介する。



▲26歳で起業——和光が見える銀座のオフィスにて



▲最も尊敬する興銀元頭取の正宗さんと（右側）



▲日刊工業新聞百周年祝賀会 井水社長と



▲マーガレット・サッチャーさんを女性セミナーに招聘



▲高松宮妃がん研究基金に協力



▲FJPのご縁を大切に（FJP三田前会長と）



▲囲碁は4段の腕前



▲テンプスタッフ篠原さんの「私の履歴書」連載完了祝い

株式会社 桜ゴルフ <http://www.sakuragolf.co.jp>

### 第21回定時総会開催

2016年4月25日(月) 午前11時より、福島市ウェディングエルティ会議室に於いて、第21回定時総会が開催されました。

■第1号議案…平成27年度事業報告並びに収支決算報告承認の件/監査報告

■第2号議案…平成28年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

■第3号議案…役員改選の件

■第4号議案…定款及び内規変更の件以上が承認可決され、総会は無事終了いたしました。

その後、役員改選案が承認され、新体制がスタート。新会長は監事の石美代子(郡山トラック運送代表取締役)が就任。上石新会長は、「出会いと学びの中で培われた精神と情熱をもって、より素晴らしきFJPにしていきたい」と抱負を述べました。



上石会長

三田前会長は、今後は佐藤和江監事とともに、監事として会を補佐していただきます。

また、副会長には、安斎恵美子(総務委員会)、紺野涼(事業委員会)、横山りつ子(交流広報委員会)の3名が就任、平成28年度の委員会活動を推進していきます。

#### 副会長



横山りつ子 (交流・広報委員会) 紺野涼 (事業委員会) 安斎恵美子 (総務委員会)

#### 監事



佐藤和江 (事業委員会) 三田公美子 (交流・広報委員会)

### 新人会員一人一言

#### 違った視点での学びを



新城希子 (会津若松市) (事業委員会) 末廣酒造(株) 専務取締役

会津で「末廣酒造」という造り酒屋をしております。いろいろなご縁をいただき、このFJPへ入会させていただきました。異業種の皆さまの多種多様な考え、違った角度からの視点などを学ばせていただきましたと楽しみに思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

#### 新しい出会いが楽しい



佐々木敦子 (本宮市) (事業委員会) 株式会社 佐々木電気商会

弊社は、本宮市で電気設備工事業を営んでおります。事務所には愛犬2匹がおり、お客様を熱烈歓迎！でお迎えしています。FJPでは、さまざまな業種の方々と出会い、お話しできる機会を楽しみにしています。よろしく願っています。

#### 一緒に学ぶことの喜び



菊地京子 (郡山市) (総務委員会) 司法書士 菊地淳史事務所・司法書士

FJPの皆さんは、いつも明るくパワフルで、お話させて頂くだけで元気になります。司法書士事務所で作成が主な仕事ですが、お客様に信頼して頂き、任せて頂く事が第一。もっと包容力のある、女性ならではの強みがほしいと日々奮闘中です。FJPの活動を通していろいろ学んでいきたいと思っております。よろしくお願ひします。

#### 第二の人生を模索



宗像洋子 (郡山市) (交流広報委員会) 公益財団法人「日本さくらの会」 渉外担当

自分の過去を振り返りながら、高い関心と興味と敬意と憧れと励ましたいと思いが全身に満ちて、皆さんに会ってみたい一念でした。初参加の印象は、役割ごとにそれぞれがきびきびと仕切っている姿は「頼もしい、素晴らしい！」でした。これから皆さんと一緒に勉強して参りたいと思ひます。

5月例会 5月17日(火)

# ヒロシマ 原爆を語る

宴庭 燦(郡山市)

## 1945年ヒロシマ6歳の夏

講師 小野瑛子氏

(広島原爆被爆者)



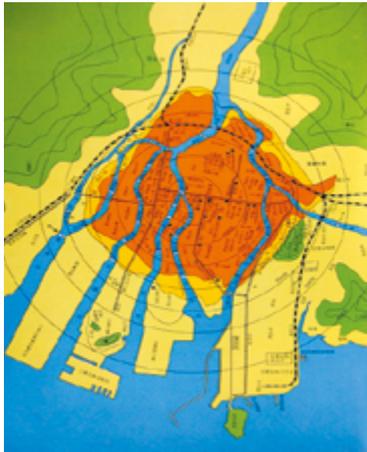
「原爆」の基本的な知識から、ウラン型、プルトニウム型など原爆の種類、原爆開発の歴史などについてお話しを頂きました。

原爆が落とされた瞬間は、家で母と二人。二人は助かったものの、父と姉は死亡。当時中学教師をしていた父は、投下の瞬間爆心地近くの土手で生徒たちとともに被爆。引率の他の教師3名、6学級322名の生徒も全員が死亡。父の遺体は見つからなかった。爆心地から1・2km地点の観音国民学校2年生だった姉は、校庭で朝礼中に被爆。母親が3日間探し続けて発見した。顔、両手、両脚に大やけどを負い、洋服の切れ端

で本人と分かったと聞かされた。広島は街は被爆した人々であふれ、川や防火用水は遺体であふれていた。爆風の威力は凄まじくて、皮膚がはがれた様でさまよう姿は地獄絵図そのものの状況だった。

母と2人でいた自宅は爆心地から1・9km。二階建ての木造家屋が瞬時に全壊し、間もなく周辺からの出火によって全焼。額と膝に裂傷。避難の途中で黒い雨を浴び、被爆後数日で急性放射能障害を発生。その後も長く「原爆ぶらぶら病」に苦しんだ母は、悪性腫瘍のため70歳で死亡。

火傷や外傷はなかった私も母と同様、急性放射能障害、原爆ぶらぶら病に苦しんできた。65歳のときに甲状腺機能亢進症とバセドウ眼疾を発症。悪性腫瘍の疑いがあったため甲状腺摘出手術を受け、甲状腺機能低



下症(橋本病)に。76歳で肺がん発症、日々病と闘っている。これらの体験

から、これまでも原爆の悲惨さを訴え続けてきた。これからも命のある限り訴え続けていきたい。

### 原爆とは

- \*原爆 = 原子爆弾(Atomic Bomb)
- \*ウランやプルトニウムなどの原子核が起こす核分裂反応を利用した核爆弾(核兵器)
- \*広島はウラン型(リトルボーイ)
- \*長崎はプルトニウム型(ファットマン)
- \*焼夷弾のように地上で爆発・炸裂するのではなく、上空で爆発・炸裂する
- \*広島は原爆ドーム近くの島病院の上空600mで炸裂
- \*爆発地点を爆心地という

### 過去に類のない原爆の破壊力

- \*炸裂と同時に熱線と放射線が発生。
- \*周囲の空気が瞬間的に膨張し強烈な爆風と衝撃波を巻き起こした。
- \*爆心地を中心に同心円状に、一瞬で熱線・放射線・爆風が広がった。
- \*いずれも、これまで人類が経験したことのないすさまじい破壊力。



### 八幡様のお稲荷さん

ふくしまの自慢③ 三田公美子

奥の細道で松尾芭蕉は郡山に立ち寄っている。日がな一日、物狂いのように「かつみ、かつみ」と捜し回り、夜になって一泊している。その感想は「宿むさかり」のひとこと。他はなし。

奥州街道の小さな宿場町でしかなかった郡山はともすると歴史も伝統もないと片づけられるが、そんなことはない。私を力づけてくれるのが、このお稲荷さんである。

何を隠そう、通称八幡様、安積国造神社の一隅におわします稲荷神社である。八幡様に何の不足もあるわけじゃないけれど、郡山は商人のまちだからお稲荷さんがなければこはつくめえ、と気はしの利く先人たちがそう古くもない昔、建立したのであろう。

この写真は石山貴美子さんが撮影した一枚だが、石山さんの腕で、ありがたさの後光がさしている。



6月移動例会 6月14日(火)  
**新城社長 講演会**

12時～15時 / 末廣酒造嘉永蔵

講師 新城猪之吉氏  
 (株)末廣酒造代表取締役



会員約30名が末廣酒造株式会社を訪問、嘉永蔵を会場に、同社代表取締役新城猪之吉氏に酒業界の動きをお聞きした。「資料不足で思慮不足」など独特のユーモアと語り口で、時に言葉遊びを交えながら、後継者育成の取り組み、3・11以降の福島県の酒を取り巻く状況などをご説明いただいた。

昔都内で、福島フェアに出品しようとした際、その味のレベルがフェアにふさわしくないと理由で出品を断られ、福島の酒に対する評価が低いことを認識し、それ以来蔵人を育成する学校を設立するなど、様々な改革を通して福

島の酒の発展に貢献している。

また、日本酒の国内売り上げそのものが落ちてきている現状を打破するため、25年前から海外への輸出を強化。現在では王室御用達になっている国があるほど、広く認知されるようになった。

震災後も持前の行動力で、福島の酒蔵をけん引してきたのが新城社長。最後は日本酒に使われるお米の種類や日本酒を使った美容法などもご披露いただき、楽しい実り多い移動例会となった。



▲嘉永蔵の大広間。美味しいコーヒーを頂きながら新城社長の講演を聞く会員



▲創業166年。歴史の重みを感じさせる嘉永蔵は手づくりで、最新鋭の設備を誇る博士蔵は歴史伝承とともに近代的かつより旨い酒づくりにこだわり、高い技術力と技を誇っています

7月例会 7月12日(火)  
**会員に聞く**

(福島市) 茶寮 おりおり

コーディネーター 上石会長

●菊地京子 会員

(司法書士・郡山市)

司法書士の研修会でお会った主人と一緒に事務所を開設しました。経営者ではないが、FJJPに入ってから今までにない経験が出来たので、もっと勉強したい。これからは、成年後見、認知症の代理が専門なので、事務所の人数等、体制



左から、佐々木さん、宗像さん、菊地さん、コーディネーターの上石会長

を整えて、依頼された仕事に自信を持って二人で頑張りたい。

●佐々木敦子 会員

(佐々木電気商会・本宮市)

電力を充電して各会社に回す仕事をしている(送電と拝殿の分離)。今後、電気は太陽光に変わると考えている。これからは会社の後継者を育てたいと思っているが、体力がついていけない。でも、息子に渡すまでは、社員を育てていきたい。

●宗像洋子 会員

(日本さくらの会・郡山市)

女性の進出が難しい時から、永田町で仕事をしてきた。今は「日本さくらの会」で桜を守る、木の種類を増やす等の活動をしている。湖南が昔のままの姿を止めているのを大切にしながら今後は磐梯山と猪苗代湖の自然を活かした大きなイベントを考えている。

※今回は3人も新入会員が揃いました。コーディネーターも新会長。会長の持ち味が生きる質問に、新会員もリラックス。和やかな雰囲気の中、楽しいトークが進みました。次回もお楽しみに！

### 各委員会活動

#### ●総務委員会——委員長・菊池美保子

8月9日、二本松市「花季」で総務委員会を開催。女子学生懸賞作文について協議を行いました。作文募集事業は、理事が中心で行ってきたのを、他の会員も参加できるように選考委員を各委員会から5名選任し、15篇を選んでもらってはとの意見が出ました。出席理事10名の中から5名の選考委員を決定。総務決定の内容を9月の理事会と定例会に提案し、会員のご理解を頂きます。総務委員会は、これからの縁の下の力持ちとなつて、より良いFJPを目指して活動して行きますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。



#### ●事業委員会——委員長・山本欣子

小さい時の遊びの中で好きだったのは電車ごっこだ。先頭はいつも決

まって身体のでかい女の子(私：笑)。後ろの人が肩に手をおいて皆でシュッシュポッポと言いながら前に進んでいく。あつという間に長い電車になって、そして先頭が最後尾につながつて。あれはなぜ、あんなに楽しかったのだろう。事業委員会もまるで電車ごっこのような。いつも輪になって笑いながら、食べながら話しながら、認めながら、褒めながら。これからのそんな事業部会を宜しくお願い致します。



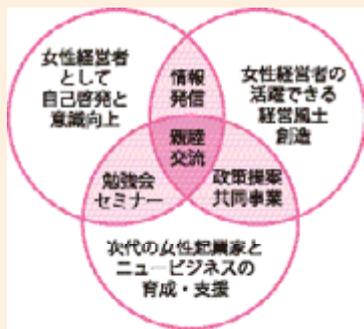
#### ●交流広報委員会——委員長・会田和子

8月2日に委員会を開催(郡山・燦)。会田、澤上、長尾、伊東、新規会員宗像、三田前会長・現監事の6人が集合活動の1つは、会報の発行。9月末に15号を発行予定で本日最終の進捗状況を確認。16号の企画内容については、福島県の復興や風評被害問題など、福島問題に積極的に迫る特集記事を組むのはどうか。現状に甘んじることなく、新しい試みをする会報づくりを目指し、

会員と対外をつなげたいなど、次々とアイデアが出され、活発な意見交換の場となりました。会員の皆さまには、今後も原稿などのご協力をよろしくお願いたします。



### ●FJPは、随時会員募集中です



FJPは、県内女性経営者の集いです。時には真面目に、時には楽しく!!

私たちと一緒に活動しながら、ともに成長しませんか?

問い合わせ先  
福島県郡山市柏山町3  
電話:024-961-7111 (企画室・コア)  
<http://fjp-net.com/>

### 後半期の活動予定

- 10月定例会…10月25日(火)  
フォレストパークあだたら  
芋煮会
  - 11月定例会…11月22日(火)  
郡山市・燦
  - 12月表彰式…12月3日(土)  
福島民報社(福島市)  
第3回女子学生作文発表会&受賞者表彰式
  - 12月定例会…12月20日(火)  
二本松市ドリーム(クリスマス)
  - 1月委員会…1月17日(火)  
福島市・峰亀(新年会)
  - 2月定例会…2月14日(火)  
本宮市 天狗
  - 3月定例会…3月14日(火)  
福島市・ウエディングエルティ
- \*会員の皆様は、早めの日程確保をお願いいたします

### ●編集後記

猛暑の夏といえば甲子園全国高校野球選手権大会。今年は2016リオデジャネイロ五輪も。心強く技磨かれ国際標準の体格で世界と勝負する日本選手には、ホント勇気をもらいました。(会田和子)